

LAW & ORDER

組織犯罪特捜班

シーズン2

「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン2」

【別紙】番組詳細資料



INTRODUCTION

イントロダクション



ディック・ウルフ製作総指揮の名作ドラマ「LAW & ORDER」のスピノフ「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」でオリビア・ベンソンの相棒刑事として人気を博したキャラクター、エリオット・ステイブラー刑事を主人公にした「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン 2」が日本初上陸！ ステイブラーは「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班 シーズン 12」でニューヨーク市警を去ったが同作のシーズン 22 に再登場、妻キャシーが爆破事件に遭うエピソードの後を受けて「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン 1」が米 NBC 局で放送を開始した。これはステイブラー役を演じるクリストファー・メローニにとって実に 10 年ぶりの「LAW & ORDER」シリーズへの復帰で、「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン 1」第 1 話の平均視聴者数は 790 万人を記録する好スタートを切り、2023 年現在、本国ではすでにシーズン 3 がオンエアされ新たな人気シリーズとして快進撃を続けている。

シーズン 1 でステイブラーは、ディラン・マクダーモット演じる妻キャシーの仇であるエリート麻薬王リチャード・ウィートリーを逮捕したが、シーズン 2 ではその裁判の結果、2 人が再び対決することに。また、潜入捜査を始めたステイブラーが新たに複数の麻薬組織、汚職警官たちの犯罪を追及していくことになる。その戦いの行方は前シーズン以上の迫力とスリルが満点。さらに、ステイブラーと彼を取り巻く人々の深い人間ドラマも描き込まれ、これまでにない興奮と感動に満ちた展開が待ち受ける！

「LAW & ORDER」フランチャイズ最新作のシーズン 2 を独占日本初放送 ステイブラーと麻薬王ウィートリーの対決の行方は？ 組織犯罪対策チームが様々な凶悪犯罪組織を追い詰める！

ニューヨーク市警性犯罪特捜班を退職後、ニューヨーク市警イタリア支部で働いていたエリオット・ステイブラー（クリストファー・メローニ）は、10年ぶりに一家でニューヨークに戻る。だが、妻キャシーが爆破事件に遭遇して死亡、その真相を究明するためニューヨーク市警に新設された組織犯罪対策チームのメンバーとなった。そして、彼は事件の黒幕である麻薬王リチャード・ウィートリー（ディラン・マクダーモット）を追い詰め、シーズン 1 の最後でついに彼とその家族を逮捕した。

シーズン 2 はウィートリーが起訴されてから 3 カ月後、彼が情報提供で連邦検事局の捜査に協力したことで組織的な犯罪行為については起訴取り消しとなるところから始まる。その結果、ウィートリーは次に待ち受けるステイブラーの妻キャシー殺害容疑の裁判に対しても余裕の態度を見せていた。一方、その判決が下る法廷に姿を見せなかったステイブラーは髭を生やしてワイルドに変装し、エディ・ワグナーの偽名を名乗ってアルバニア系ギャング団の潜入捜査を行っていた。2 カ月半かけて組織の中堅人物レジー・ボグダニの信用を得た彼は、コカインの密輸現場にも同行。ところが、その現場に買収したはずの港灣警察が現れた上、何者かにコカインを奪われてしまう。

HIGHLIGHTS

見どころ

多様化する犯罪組織を相手にする先の読めないスリリングな捜査

本作は事件発生から犯人逮捕、裁判の判決まで1話完結で描く他の「LAW & ORDER」シリーズとは異なり、シーズンを通してステイブラーら組織犯罪対策チームと犯罪組織との息詰まる攻防戦が進行し、随所に法廷シーンが挿入されるという構成。シーズン2は麻薬の帝王として君臨したウィートリーに代わって覇権を握ろうとする東欧系マフィアが台頭し、ステイブラーがその潜入捜査を行う緊迫のサスペンスで幕を開ける。映画『ゴッドファーザー』を彷彿とさせる血縁で結ばれた犯罪組織に入りこんだ彼が、当初はよそ者として警戒されながらも仲間の信用を得て、地元の黒人ギャング団との抗争に挑んでいく過程は手に汗握る面白さ。その裏で彼がリーダー、アヤナ・ベルが率いる組織犯罪対策チームのメンバーにバックアップされながら綱渡りの危険な捜査を進めていく様子も臨場感たっぷりに描かれる。さらに、中盤からはウィートリーがステイブラーに反撃を開始し、法廷では決着のつかなかった2人の勝負が再度繰り広げられる驚きの展開に。そんな予測不能なストーリーの行方にハラハラしながら目が釘付けになってしまうこと間違いなしだ。



HIGHLIGHTS

見どころ



捜査官から犯罪組織の家族にいたるまで、濃密な人間ドラマも展開

シーズン 2 は、多彩なエピソードにより様々な角度から人間ドラマが深掘りされていくのも視聴者を引きつけるポイント。妻を目の前で亡くした心の傷が癒えないステイブラーが、シビアな任務をこなしながら残された子供たちと生活を立て直してだけでなく、疎遠になっていた認知症と双極性障害を患う母親を引き取って家族関係を見つめ直し、警察官だった亡き父親の過去を辿って過酷な事実にも向き合っていく。一方、ベルは弁護士の妻デニスが生んだ子供と一緒に育て始めるが彼女との間で意見の相違が増えていき、仕事では麻薬課との合同捜査で元上司ブルースターと衝突するなど人間関係で悩みを抱える。その他、犯罪者ファミリーたちにもスポットが当てられ、それぞれの愛憎入り乱れる家族ドラマが描かれるのも見応え十分。さらに、ステイブラーの元相棒オリビアが、彼が辛い時に現れて心の支えとなり、2人がブランクを経て再び関係を深めていくのも見逃せない。

「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」のキャストたちがシーズン 2 に登場

本作には「LAW & ORDER: 性犯罪捜査班」でお馴染みのキャストが度々ゲスト出演するのもファンにとって嬉しい見どころ。シーズン 2 には「LAW & ORDER: 性犯罪捜査班」シーズン 10 以来のシリーズ出演となる名女優エレン・バースティンが登場、再びステイブラーの母親バーナデッド役を演じる。さらに、性犯罪捜査班を率いるオリビア・ベンソン役のマリスカ・ハージティを筆頭に、ステイブラーの元上司ドナルド・クレイゲン役のダン・フロレク、オダフィン・チュツオーラ刑事役のアイス・T、ラファエル・バーバ検事補役のラウル・エスパーザのほか、シーズン 23 からチーム入りしたジョー・ベラスコ刑事役のオクタビオ・ピサーノも出演。彼らがステイブラーの奮闘をサポートするといった役どころでエピソードを盛り上げるのに注目だ。

GALLERY

ギャラリー



広がり続ける「LAW & ORDER」シリーズ 本国ではシリーズ 3 作品のクロスオーバーも実現!

1990年に米NBC局で放送開始した「LAW & ORDER」は事件が起こり、警察が容疑者を逮捕して終わるのではなく、検察がその容疑者を起訴し、裁判でどのような判決が下されるかを描くという犯罪捜査ドラマと法廷ドラマを組み合わせた構成で、90年代の米ドラマ界に新風を吹き込み、そのフォーマットを崩すことなく20年にわたるロングランを続けた。製作総指揮のディック・ウルフは「ニューヨーク・ポスト」のニュースの見出しをヒントにエピソードを書き、当時のドラマとしては珍しく実際にニューヨークでロケを敢行。このように現代社会を反映した犯罪捜査の現場を描くことにこだわったリアリズムの精神は、エミー賞で1992～2002年まで11年連続で最優秀作品賞へとノミネートされる評価につながり、90年代の「ホミサイド／殺人捜査課」「NYPDブルー」や2000年代の犯罪捜査ドラマブームへと受け継がれていった。

また、「LAW & ORDER」は6人のメインキャラクターを演じるキャストが次々と入れ替わり、20年の間に28人もの実力

派俳優がキャスティングされてきたことが、視聴者を飽きさせず長く支持された秘訣でもある。その上、全シーズンを通して約480人に上る俳優がゲスト出演してきた本作はスター俳優への登竜門とも言われ、ゲスト出演者にはのちに有名になったスターたちの名前が多く見られることもキャスティングの素晴らしさを物語っている。例えば、ジュリア・ロバーツ、フィリップ・シーモア・ホフマン、サミュエル・L・ジャクソンなどの映画スターから、「グレイズ・アナトミー 恋の解剖学」のエレン・ポンピオ、「ナース・ジャッキー」のイーディー・ファルコ、「ゴシップガール」のレイトン・ミスター、「刑事ジョン・ルーサー」のイドリス・エルバ、「Homeland」のクレア・デインズ、「グッド・ワイフ」のジュリアナ・マルグリーズ、「モダン・ファミリー」のタイ・バーレルなど、その後に主演ドラマを大ヒットさせたスターまで枚挙にいとまがない。

さらに、「LAW & ORDER」が舞台を変えてスピンオフを増やしていくフランチャイズ方式を最初に成功させたシリーズであることも忘れてはならないだろう。登場人物や世界観を共有するフランチャイズ方式は、のちに犯罪捜査ドラマの大ヒット・シリーズ「CSI: 科学捜査班」「NCIS ネイビー犯罪捜査班」「クリミナル・マインド」にも採用されて成功を収めているが、この手法は現在「シカゴ」「FBI」シリーズも手がけているディック・ウルフが「LAW & ORDER」で確立したといえる。1999年にスピンオフ第1弾「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」、2001年に第2弾「LAW & ORDER: 犯罪心理捜査班」をスタートさせた彼は、その後も「LAW & ORDER: 陪審評決」「LAW & ORDER: LA」「LAW & ORDER: True Crime (原題)」とシリーズを拡大した。その中でもすでにシーズン24まで続いているのが、マリスカ・ハージティが刑事オリビア・ベンソンを演じる「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」で、オリビアの相棒刑事だったエリオット・ステイブラーが主人公となった2021年開始のスピンオフ「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班」もシーズン3まで順調に更新されている。

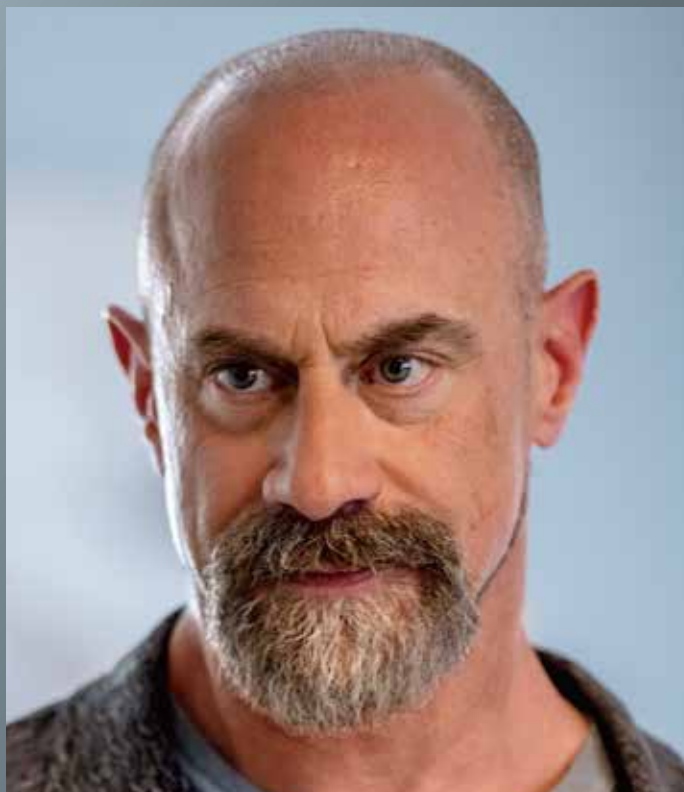
なお、2010年にシーズン20で終了していた本家「LAW &

ORDER」は2022年2月に再始動、同年9月には「LAW & ORDER シーズン22」、「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班 シーズン24」、「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン3」のクロスオーバー・エピソードが3時間にわたって全米で放送されてファンを喜ばせた。このように常にクライムドラマの新境地を開拓することにより、世界中で支持され続けている「LAW & ORDER」シリーズ。ぜひクオリティの高い作品群のそれぞれの魅力を堪能してほしい。



CAST

キャスト



エリ奥特・ステイブラー / (声：山野井仁)

ニューヨーク市警の性犯罪特捜班に所属し、オリビア・ベンソンと長きに渡りパートナーを組んでいたが、12年前に母親を殺した犯人に向かって発砲し始めた少女を射殺してしまい退職。数年のブランクを経てニューヨーク市警のイタリア支部で連絡将校となり、家族とともにローマに移住していた。10年ぶりに戻ってきたニューヨークで爆破事件に遭い、妻を失ってしまう。妻を殺した犯人を追う中、新設されたばかりの組織犯罪対策チームに加わるようになった。エディ・ワグナーの偽名でアルバニア系ギャング団「コスタの組織」に潜入。



【クリストファー・メローニ】

1961年米ワシントン DC 生まれ。高校卒業後、コロラド大学ボルダー校で歴史学を学ぶ。在学時から興味を持っていた演技の道を選んでニューヨークに移住し、ネイバーフッド・ブレイハウス演劇学校の演出家サンフォード・マイズナーに師事する。1989年に HBO シットコム「1st & Ten(原題)」の最終シーズンでレギュラーの座を獲得。その後は「NYPD BLUE ~ニューヨーク市警 15 分署」への出演に続き、「OZ / オズ」でクリス・ケラー役としてレギュラーを仕留める。「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」はシーズン 12 まで参加した後同シリーズを去ったが、シーズン 22 で再び数エピソード復活している。2006 年にプライムタイム・エミー賞にノミネートされた。テレビだけでなく映画作への出演も多く、代表作には『シン・シティ 復讐の女神』、『42 ~世界を変えた男~』、『マン・オブ・スティール』、『12 モンキーズ』などがある。本作の本家シリーズ「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班」では、オリビア・ベンソンのパートナー役であるエリ奥特・ステイブラー刑事役を 12 年間演じた。

CAST

キャスト



リチャード・ウィートリー / 声：木下浩之

犯罪行為の隠れ蓑として合法的な製薬会社コントラポスを運営する実業家兼裏組織のボス。横領、マネーロンダリング、麻薬取引、殺人、暴行など、欲しいものを手に入れるためには手段を選ばない。シーズン1で、ステイブラーの妻キャシーを殺害した罪などに問われ、とうとう逮捕された。元妻のアンジェラ・ウィートリーとの間には2人の子供がいる。

【ディラン・マクダーモット】

1961年米コネチカット州生まれ。1987年の映画『ハンバーガー・ヒル』で俳優デビュー。主な出演映画は『マグノリアの花たち』『ザ・シークレット・サービス』など。1997年から出演した「ザ・プラクティス／ポストン弁護士ファイル」の主人公ボビー・ドネル役で、ゴールデングローブ賞ドラマ・シリーズ主演男優賞に輝く。主演ドラマ作品に、「ザ・グリッド」「DARK BLUE／潜入捜査」「HOSTAGES ホステージ」などがあり、最近では「FBI: Most Wanted ～指名手配特捜班～」に参加した。最新出演映画は、ウィル・スミス主演の『ドリームプラン』。



アヤナ・ベル / 声：藤貴子

麻薬捜査課でリチャード・ウィートリーの製薬会社を数年間追っていたため、新設された組織犯罪対策チームのリーダーとして抜擢される。ステイブラーとの初対面時は衝突があったものの、徐々にお互いを助け合う良きパートナー同士となってゆく。プライベートでは妊娠中の妻がおり、妻の甥がニューヨーク市警に暴行されたことに深く動揺し、怒りを覚えている。

【ダニエル・モネ・トゥルイット】

米カリフォルニア州サクラメント出身。サクラメント州立大学で演劇とダンスを学ぶ。主なテレビ出演作に「Rebel(原題)」「Deputy(原題)」。

舞台での活躍が多く、「ドリームガールズ」と「ザ・マウンテン・トップ」でOvationアワードとNAACPシアター・アワードにノミネートされている。また、一人舞台「3: Black Girl Blues(原題)」を、ロサンゼルス、サクラメント、ニューヨークで公演して好評を博す。参加した舞台作は「IN THE HEIGHTS イン・ザ・ハイツ」「Aida(原題)」「Hair(原題)」など。



ジェット・スルートマーカース / 声：福田芽衣

爆弾犯の所持していたスマートフォンにハッキングして行動履歴を解析することに成功したフリーランスのホワイトハットハッカー。ステイブラーの推薦によって対策チームのメンバーとして採用される。頭の回転が早く、テクノロジーに精通した若き逸材。リチャード・ウィートリーを逮捕するための作戦では、潜入捜査も行った。

【ディラン・マクダーモット】

1998年米ノース・カロライナ州出身。母親はオペラ歌手でボイストレーナーであり父親は宝石商で金細工職人。高校生向けのシアター、PlayMakers Summer Youth Conservatoryで初舞台に立つ。2016年に演じた「アダムス・ファミリー」のウェンズデー・アダムス役で、Triangle Rising Starの最優秀女優賞を受賞。大学在籍中は、舞台「春のめざめ」でバンドラ役を演じている。短編映画『American Waste(原題)』にも出演。本シリーズ作品への参加で大々的に知名度を上げた。



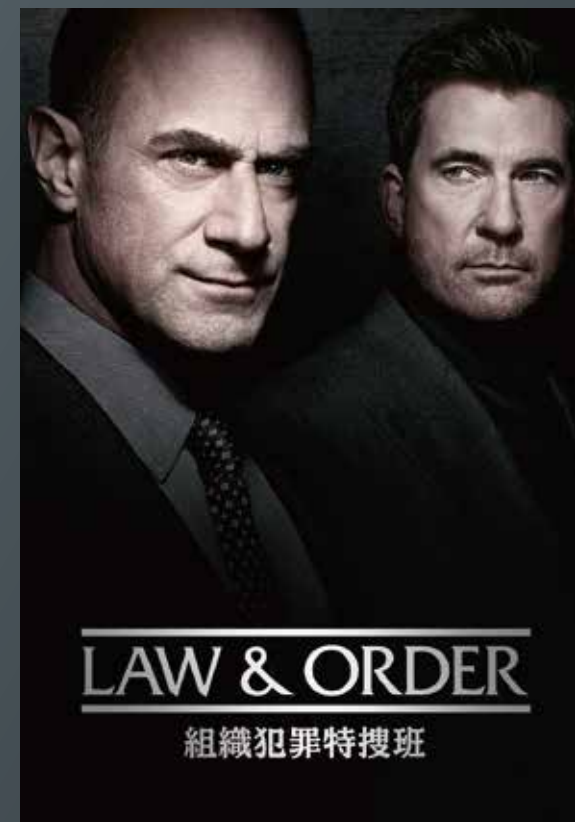
アンジェラ・ウィートリー / 声：八十川真由野

コロンビア大学の数学教授で、リチャード・ウィートリーの元妻。リチャード・ウィートリーの会社経営を手伝う二人の子供の将来を案じている。前々の夫との子供で詩人のラフィクは、リチャード・ウィートリーによって殺された。その後、リチャードに対して不利な証言をすることになり毒殺未遂に遭う。

【タマラ・テイラー】

1970年カナダのオンタリオ州生まれ。ヒットシリーズ「BONES 一骨は語る」でシーズン2～12までカミール・サローヤン役で出演し一躍有名になる。その他「エージェント・オブ・シールド」シビル役、「オクトーバー・ファクション」、「オルタード・カーボン」のほか、グレース・ウィルコックス役として出演したシーズン3の「サンフランシスコの空の下」などがあり、テレビ作品への参加も多岐にわたる。最新出演作は、映画『Diary of a Spy(原題)』や「スノーフォール」シーズン6へのゲスト出演。

INFORMATION 放送情報



「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン 2」

2023/3/6(月)22:00 独占日本初放送スタート!

【二カ国語版】毎週月曜 22:00 ほか 【字幕版】毎週月曜 24:00 ほか

製作総指揮：ピーター・ジャンコウスキー、クリストファー・メローニ、アーサー・W・フォーニー、テリー・ミラー、フレッド・パーナー、ディック・ウルフ
キャスト：クリストファー・メローニ、ダニエル・モネ・トゥルイット、タマラ・テイラー、エインズリー・シーガー、ディラン・マクダーモット

「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン 1」

<シーズン 2 放送開始記念 アンコール放送>

2023/3/2(木)28:00 スタート!

【二カ国語版】毎週月曜～金曜 28:00

※3/1(水)28:00からは「LAW & ORDER: 組織犯罪特捜班 シーズン 1」第1話の前編となるクロスオーバーエピソード、「LAW & ORDER: 性犯罪特捜班 シーズン 22」の第9話を放送